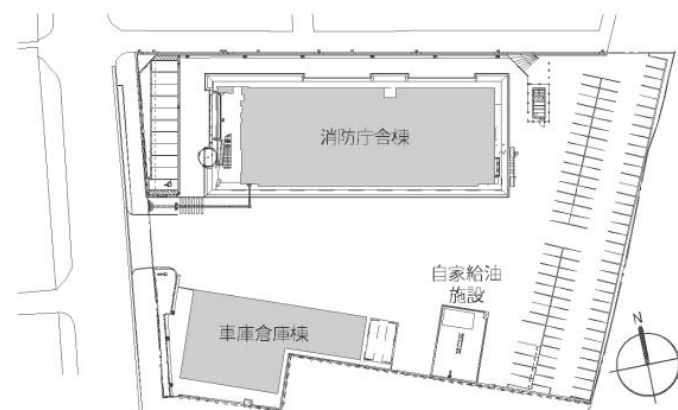




岡山市北消防署は、近年都市化が急速に発展している岡山市の中心部において、多様化する各種災害に迅速かつ確に対応が可能な機能性・機動性を兼ね備えた総合防災拠点として整備されました。大規模地震発生時においても災害対応が円滑に行えるよう、免震構造を採用して耐震性を確保するとともに、24時間いつでも燃料補給が可能な自家給油設備を併設しています。また、屋内訓練室の見学や防災研修室での各種研修による防火・防災の啓発を通じて、消防行政への関心・理解を深めることにより、オープンで親しまれる消防署となることを目指しています。



概要

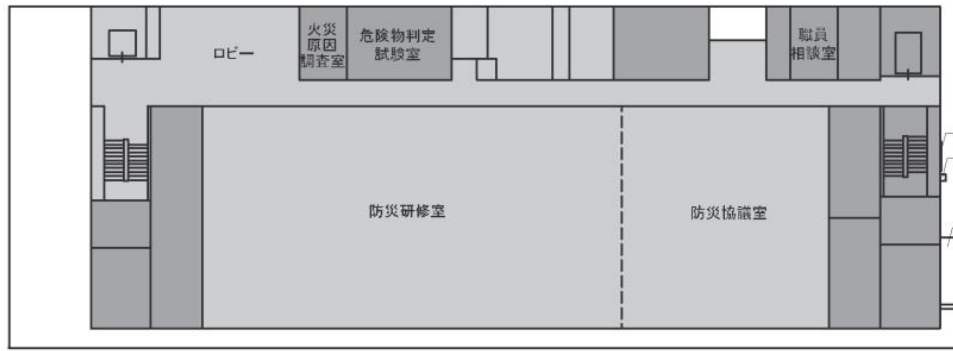
敷地面積：5,625.31㎡

高層規模：■消防庁舎棟…鉄骨造(免震構造) 6階建
 建築面積 1,197.58㎡、延床面積 5,884.66㎡
 ■車庫倉庫棟…鉄骨造 2階建
 建築面積 529.02㎡、延床面積 1,058.04㎡

発注者：岡山市長 大森雅夫

設計監理：株式会社 日総建

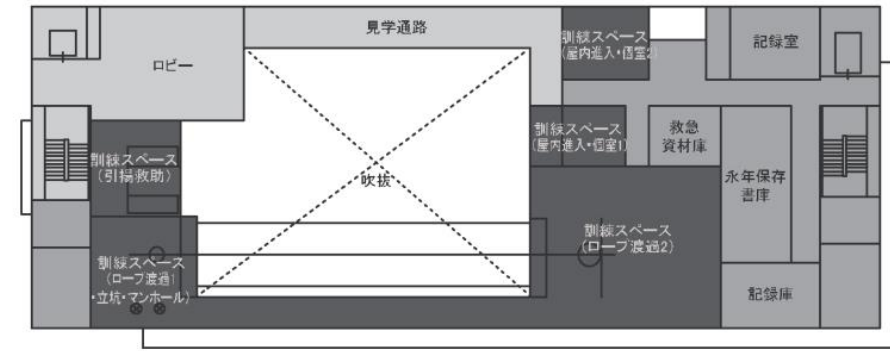
施工：建築 東洋建設(株)・(株)重藤組・河野建設(株)特定建設工事共同企業体
 電気設備 (株)中電工・(株)木多電気設備特定建設工事共同企業体
 機械設備 齋久工業(株)・太田設備工業(株)特定建設工事共同企業体



大人数での利用を想定した、防災研修室・協議室のほか、火災原因調査室・危険物判定試験室等が配置されています。

- 研修・協議スペース
防災研修室と防災協議室の間にある移動間仕切りを開放することで、一室での利用も可能となります。
- 調査・研究スペース
火災の原因に関する調査や危険物の性状等の試験・研究を行います。

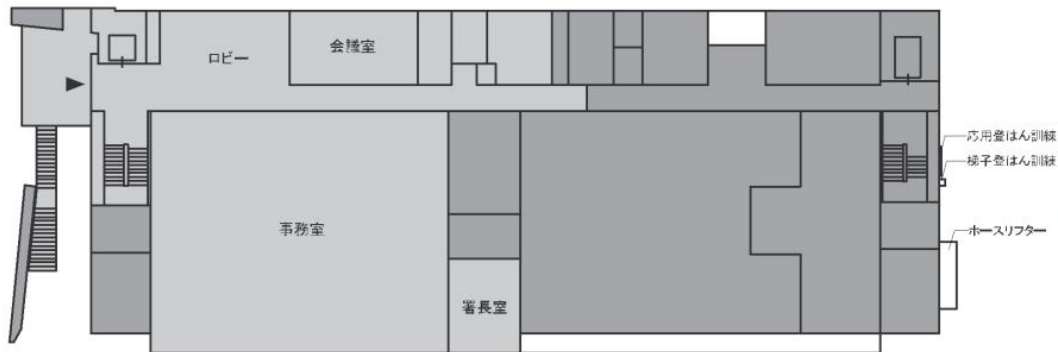
3F



5階同様、訓練、訓練見学、備蓄の各スペースが配置されています。

- 訓練スペース
レンジャーネットでサポートされたロープブリッジ救出訓練、屋内進入訓練を行います。
- 見学スペース
ロビー、見学通路からは、立体的に訓練の見学が可能です。
- ストレージスペース
5階と6階の資機材倉庫等は、必要資材を保管するための十分な容量を確保しています。

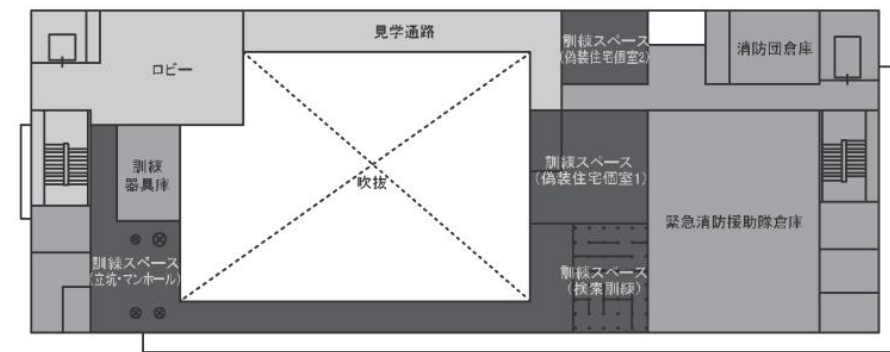
6F



執務、来庁者対応を行う事務室や会議室のほか、仮眠室、食堂・待機室が配置されています。

- 事務スペース
ロビー、廊下とはガラスパーティションで仕切り、明るく親しみやすいイメージとしています。また、OAフロア、可動間仕切りの採用で、フレキシブルな執務空間となっています。
- 待機スペース
仮眠室は災害対応等の支援受入れを想定し、襖を利用することで大広間のように使うことが可能です。食堂・待機スペースは、廊下を介さず、直接階段室へ入ることが可能です。

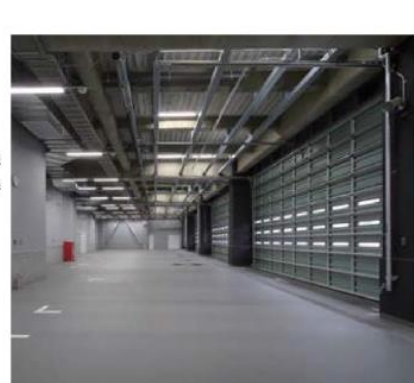
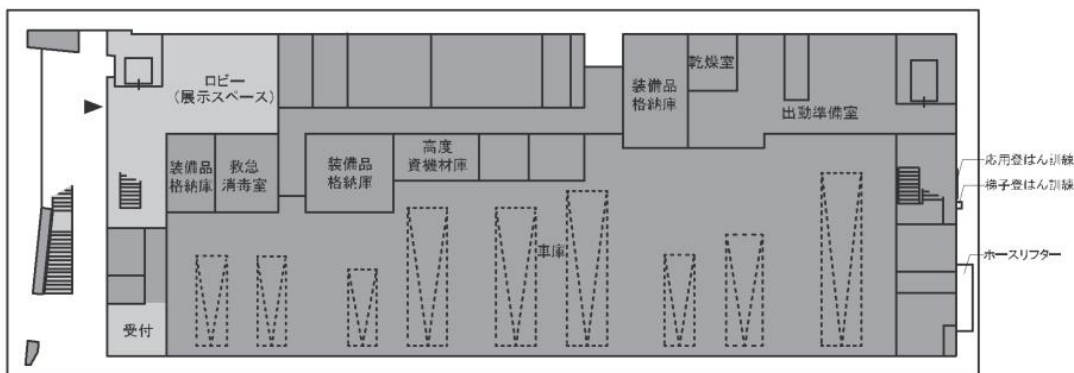
2F



訓練スペースのほか、訓練を見学できるスペースと、緊急消防援助隊用の資機材倉庫も配置されています。

- 訓練スペース
訓練用として意図的に暗い迷路を再現する検索訓練と、2階以上の住宅や集合住宅を想定した屋内進入訓練を行います。
- 見学スペース
ロビー、見学通路からは、立体的に訓練の見学が可能です。

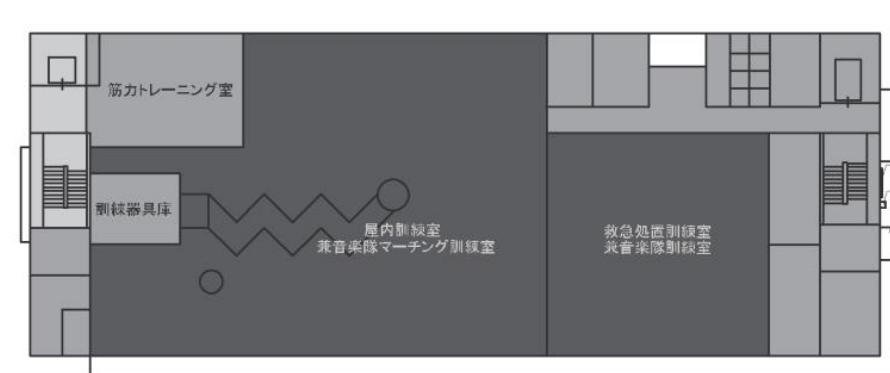
5F



受付のほか、緊急車両が配置される車庫と、それに関連した諸室が後方に配置されています。

- 車庫スペース
西側に救急車両、東側に消防車両を主に配置し、出動に備えて待機しています。
- 救急スペース
救急車後方に救急消毒室・資材庫等が配置されている他、2階事務室・救急仮眠室からの動線に配慮しています。
- 消防スペース
2階食堂・待機室から出動準備室、車庫へと、迅速な消防活動への流れが可能となっています。

1F



4階より上階は、吹抜けで繋がった屋内訓練室と、救急処置訓練室が配置されています。

- 訓練スペース
上階と一体となった引揚救助訓練、立坑・マンホール訓練の他、クライミングトレーニングが可能です。救急処置訓練室には遮音を施し、音楽隊の訓練室としても使用可能です。また、筋力トレーニング室では職員の体力向上を目的とした各種トレーニングを行います。

4F